



2026年4月10日

各位

会社名 株式会社ヒマラヤ
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 小田 学
(コード番号 7514 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 取締役管理本部長兼 CFO 三井宣明
(TEL 058-271-6622 (代表))

2026年8月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年10月10日に公表いたしました2026年8月期第2四半期(中間期)(2025年9月1日~2026年2月28日)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年8月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異(2025年9月1日~2026年2月28日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 中間純利益 | 1株当たり 中間純利益 |
|------------------------------|---------------|------------|-----------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 29,620 | 百万円 △15 | 百万円 10 | 百万円 6 | 円 銭 0.49 |
| 実績値(B) | 29,005 | △240 | △198 | △173 | △14.10 |
| 増減額(B-A) | △614 | △225 | △208 | △179 | |
| 増減率(%) | △2.1 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (2025年8月期第2四半期) | 28,756 | 114 | 156 | 44 | 3.59 |

2. 差異の理由

2026年8月期第2四半期(中間期)の連結業績につきましては、売上高については、テニスやバドミントンのラケットスポーツやシューズが牽引し、ゴルフにおいても好調に推移しました。しかしながら、冬物商材の立ち上がり時期に平年に比べ気温の高い日が続き、ウィンタースポーツおよび冬物アパレル等の需要が強く抑制された影響で全体としては低調に推移し、業績予想を下回る結果となりました。

また、利益面についても、暖冬の兆候が見られた段階で、季節商材を中心に価格の調整を推し進めたことにより、売上総利益率が低下しました。この結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は当初の予想値を下回ることとなりました。

以上